

福高はあなたの「みらい」を応援します！

文理科学科

「みらい学Ⅰ」特別講義 第3弾

“古生物学”の講義を通して“研究”を実体験！



9月16日（金）、文理科学科1年生対象の「みらい学Ⅰ」特別講義を実施しました。

今回は、京都大学総合博物館館長の大野照文先生から「古生物学」に関するテーマで三葉虫について学びました。

生徒たちは、実際の化石標本のスケッチを通して古生物学への探求心を深めました。また、グループ毎に、三葉虫の体の構造について討論を行い、自分たちで仮説を提示し、大野先生のアドバイスを受けながら検証していきました。

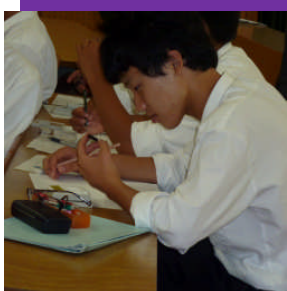
今回の特別講義を通して、生徒たちは三葉虫を観察し、自分たちでいろいろな疑問に対して推理し（仮説をたて）、その推理を証明していく（検証）なかで、新しい知識を獲得していきました。まさに研究の理論を実体験することができました。この貴重な体験をもとに今後の研究活動を進めていきます。



夏の宿泊研修のときのように、楽しく面白く説明していただき、とても分かりやすかったです。

三葉虫という名前は知っていましたが、具体的にどのような生き物なのかはほとんど知りませんでした。しかし、大野先生に「三葉虫についての知識がなくても、観察力や推理力があればいい。大事なのはそれに関する知識を持っていることより、推理して答えを見つけること。」と言われ、自分で考える力は大切だということを学びました。

出澤 華（福知山市立南陵中学校 出身）



今回、初めて参加型の講義を受けて、知らないことを考え、学ぶことの面白さを感じることができました。

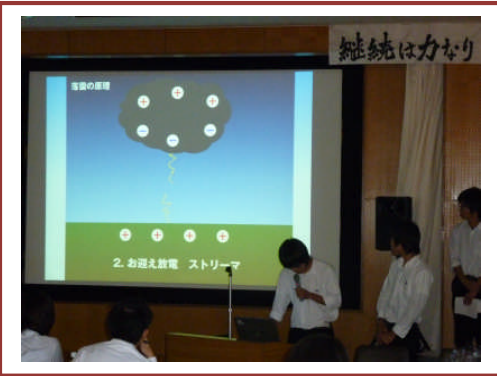
「間違ってもいいから自分の中で答えを出す。」

そのためには答えに結びつけるための理由や道筋を考え、整理することが大切だということを知りました。この過程こそが、私たちが普段生活する中や学校の勉強でも求められているものだと感じました。

1つのものから、人によって様々な見方があるので、いろいろな意見を聞くことができ面白かったです。

須藤 麻結（福知山市立日新中学校 出身）





「みらい学Ⅱ」 第2回京都大学連携講座 開講

9月28日（水）、文理科学科2年生が取り組む「みらい学Ⅱ」で、今年度2回目の京都大学連携講座を開講しました。

この取組は、京都大学の先生方を直接本校にお招きし、文理科学科2年生の研究活動に対して専門的なアドバイスをいただき、研究を一層深化させる目的で昨年度より実施されています。

今回は京都大学より下記の4名の先生方にお世話になりました。



講師

京都大学大学院文学研究科	教授	伊藤 公雄 先生
京都大学大学院情報学研究科	准教授	荒井 修亮 先生
京都大学大学院情報学研究科グローバルCOE助教		奥山 隼一 先生
京都大学総合博物館	研究員	山下 俊介 先生

今年度は6月に第1回目の連携講座を実施し、主に「研究内容をどう深めていくか」、今回の連携講座では、11月に行う研究発表会に向けて「研究成果をどう発表するか」という観点から指導を受けました。

まず最初に各班（6班編成）が10分ずつ研究発表を行い、その後、京都大学の先生方から1班ずつアドバイスを受けました。生徒たちはパワーポイントを使った発表で注意すべきことやチームワークの重要性など丁寧な指摘を受け、その貴重なアドバイスをもとに11月13日（日）に開催する研究発表会に向けて今後の研究活動を進め、完成させていきます。

今回の講義は自分たちの班だけでなく、他の班の発表も見ることができてとても参考になりました。

台風などの影響で準備する時間が足りず、完全な発表をしている班は少なかったですが、自分たちの班にはないものや、工夫の仕方など参考にすべき点がたくさん見られて、今後の研究に活かせると思いました。

先生方のわかりやすいアドバイスは大変貴重なもので、活用させていただきたいと思いました。

藤井 康生（福知山市立成和中学校 出身）



今回の講義は大変有意義なものでした。発表やパワーポイント資料の作成は未完成な部分もありましたが、良かった点、見直すべき点を指摘していただいたことで、今後の方針が固まったため、大変ありがたかったです。

澁谷 輝生（福知山市立南陵中学校 出身）

【お知らせ】みらい学 研究発表会

日時：11月13日（日）午前

場所：マリアージュ 福知山

研究の成果をぜひ御覧ください！お待ちしております。